



(SAJ31承認第00740号)

田村正彦市長から漆塗りの表彰状が手渡されました

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202)

チャンピオン^{がいせん}凱旋母校で祝福

八幡平市スポーツ栄誉賞授与式

小林陵侑選手の活躍をたたえ新設した市スポーツ栄誉賞の授与式は5月9日、母校の柏台小で行われ、児童や地域住民ら約130人が集まり祝福しました。

児童による八幡平太鼓の演奏で開式。表彰のほか質問や記念写真、握手に応じ、交流を深めました。

小林選手は今季を振り返り「八幡平市や岩手の大きな声援が力になった。名誉ある賞をいただけてうれしい。ここで生まれ育った誇りを持って、これからも飛び続けたい」と意気込みを示しました。



(SAJ31承認第00741号)

質問コーナーでは児童からの質問に笑みを浮かべ回答



元気いっぱいオープニングを務めた松川一の宮太鼓

にぎわいで岩手を元気に

復興支援と地産地消を応援するイベント

第5回いわて生協ベルフ八幡平復興支援・地産地消フェスタは5月11、12の両日、同店特設会場で開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

県内特産品の販売や飲食ブースには、被災地5団体を含む28団体が出店。ステージイベントには2日間で過去最高の16団体が出場し、会場を盛り上げました。

毎年、来場している田村勝枝さん(盛岡市)は「ワカメの詰め放題で袋いっぱい詰めることができ満足。また来年も来ます」と笑顔を浮かべていました。

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、聴力低下、腰痛症、不眠症、不妊症、月経痛等 お困りの症状を御相談ください

漢方のあさひ薬局

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!

☎0120-204077



本 店/八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227
西根中学校前店/八幡平市大更24-1-118(西根病院そば) TEL.0195-70-2311

<http://www.facebook.com/asahi.kanpou>

<http://www.asahi-kanpou.com/>





まつりを祝い紅白餅をまく関係者

春告げる桜と滝の共演

不動の滝まつり

桜と雪の回廊観光キャンペーンの一つである不動の滝まつりは5月3日、桜松公園で開かれ、多くの観光客が訪れました。

会場では市博物館が豆本風メモ帳づくり体験などのコーナーを初めて出店。体験コーナーには観光客が次々と訪れ、にぎわいを見せていました。

当日は、汗ばむほどの好天に恵まれ、同公園にある桜は昼に向かって徐々に色づき始め、桜の木を眺めながら昼食を楽しむ姿も見られました。

いだてんのごとく疾走

第10回市民健康マラソン大会

10回目を迎えた市民健康マラソン大会は5月12日、松尾総合運動公園で開かれました。

幼児から大人まで総勢150人のランナーが、残雪の岩手山を望みながらゴールを目指して特設コースを駆け抜け、汗を流しました。

同運動公園を会場に開かれたのは、松尾地区初開催の第4回大会から数えて4回目。第8回大会からは西根地区会場が加わり、安代・松尾地区と順に会場を変えて開かれています。



岩手山を背にゴールを目指してラストスパート！



3年の練習期間を経て初披露となった演目「杵舞」

伝統継承に途絶えぬ努力

第5回浅沢神楽まつり

浅沢神楽まつりは5月4日、浅沢神楽伝承館で開かれ、浅沢神楽保存会や駒ヶ嶺新山神楽保存会(二戸市)などにより計8演目が披露されました。

浅沢神楽保存会は今回、8年ぶりに復活させた演目や初披露となる演目も用意。会場では、演目名が紹介されると拍手をして喜ぶ姿が見られました。

同保存会会長の小山田和義さんは「新たな演目の披露にこぎ着けたが課題はある。お客さんの反応を見ながら改良し、続けていきたい」と話しました。

桜に囲まれにぎやかに

第6回八幡平さくらまつり

第6回八幡平さくらまつりは5月4、5の両日、県民の森・森林ふれあい学習館フォレストアイ周辺で開かれ、来場者は約400本のオオヤマザクラが開花した園内の散策を楽しみました。

まつりでは、春の自然観察会やミニいすの制作が体験できる木工体験、餅の振る舞いなどが行われました。春の自然観察会に参加した石川貴子さん(矢巾町)は「桜が咲いていて楽しめました。広い園内を子どもと一緒に散策できて良かったです」と目を細めました。



ガイドから夫婦桜の説明を受ける春の自然観察会の参加者

球春の到来告げる交流戦

第8回八幡平市&三陸中学校交流野球大会

八幡平市&三陸中学校交流野球大会は4月27日から29日までの3日間、松尾総合運動公園グラウンドを主会場に開かれました。

8回目となる今大会は、市内の中学校4校と釜石市、大船渡市、陸前高田市、岩泉町、田野畑村、山田町、洋野町の13校、合わせて17校13チーム(合同チーム含む)が参加。選手宣誓した西根第一中の藤原蓮主将は「岩手の野球を愛する仲間と共に友情を深め、自分たちの力をプレーで発揮したい」と熱戦を誓いました。



青空に映える岩手山を背景に声高らかに宣誓する藤原主将

愛しい子どもの晴れ舞台

第11回一升餅を背負って歩こう2019

第11回一升餅を背負って歩こう2019は5月5日、道の駅にしねで開かれ、多くの親子連れや応援する家族などでにぎわいました。

1~2歳の幼児26人がはんでん姿で参加。重さ約2キロの一升餅を背負って、およそ10分の距離を歩きました。

兄が待つゴールを目指して歩いた高橋桜ちゃん(1歳)の母・朋美さん=下平笠=は「無事にゴールへたどり着けて一安心。これからも元気で育ってほしい」と娘の健やかな成長を願いました。



家族の助けを借りながら一升餅の重みに負けず歩く参加者

すなっぶギャラリー



4月25日で100歳を迎えられた小山田恵子さん=浅沢第1=これからもお元気で(4月26日、自宅)



ふれあい看護体験で入院患者の足浴を行う平館高3年の沢口鉄侍さん(5月9日、西根病院)



クールビズ期間中の毎週水曜日はかりゆしデーとし友好都市名護市との交流を醸成(5月15日、市役所)



台北国際観光博覧会の八幡平市ブースで岡田久副市長が旅行商品を宣伝(5月17~20日、台湾)



県警、市防犯隊、市防犯協会がチラシなどを配り、注意喚起しました(5月14日、春の地域安全運動)